



2026年度

関西学院大学大学院人間福祉研究科入学試験【第2次】

【博士課程後期課程】

正規学生（一般・社会人・外国人） 専門

受験についての注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
2. 問題用紙1部（本文1ページ）、解答用紙4枚が配付されます。過不足があれば監督者に申し出てください。
3. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に受験番号と氏名を正しく記入してください。
5. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHB 0.5mm以上の芯のシャープペンシルで記入してください。
6. 解答用紙は丁寧に取り扱いってください。
7. 解答は各問指定の解答用紙に記入してください。解答用紙の裏面にはいっさい記入してはいけません。下書きなどには問題用紙の余白を利用してください。
8. 解答用紙の枠外および問題番号と異なる番号のところに書かれた解答は、評価（採点）の対象としません。
9. 解答中以外の解答用紙は必ず裏返しに置いてください。
10. 受験中は不審な行動をとってはいけません。不正行為をした場合、当該年度の入学試験のすべてを無効とします。
11. 試験開始後60分間と、試験終了5分前以降は退場できません。ただし、気分が悪いなど身体の調子が悪くなった場合は、監督者に申し出てください。
12. 監督者の開始合図と同時に試験を開始してください。
13. 監督者の終了合図と同時に解答をやめてください。
14. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

I 国連難民高等弁務官事務所 (UNCHR) によれば、2024 年に紛争・戦争・迫害により故郷を追われた難民は、国内避難民を含めると 1 億 2 千 3 百万人以上としている。こうした「住み慣れた場所からの他所へ移住を余儀なくされる (Forced displacement)」人々の状況を特定の視点からではなく、広い視野から説明し、その支援についてどのように対応していくべきか、1,000 字程度で論じなさい。(50 点)

II 次の設問から一つを選んで、800 字程度で論述しなさい。なお、選択した設問の番号を解答用紙に記載すること。(50 点)

- 1 これまで当事者の意見反映がほとんど進められてこなかった支援分野で、「当事者の声」を聴く機運が高まっている。しかし「声」をめぐる問題は山積みで、たとえば「声」が選択的に活用されたりしている。そこで、こうした現状の問題点を形作っている状況について論じなさい。
- 2 現代社会において非営利組織の役割は大きくなっている一方、組織運営には多くの困難がある。経営資源としてのヒト、モノ、カネ、情報のマネジメントにおいても、また理事会などのガバナンスにおいても多くの課題を抱えている。なぜ非営利組織は営利組織に比べてこれらの課題に直面しやすいのかについて論じなさい。
- 3 社会調査で使用される尺度についてその妥当性と信頼性について説明しなさい。

出題の意図

I

国連難民高等弁務官事務所をめぐる難民、国内避難民の移住・居住問題について受験者なりの説明がなされた上で、関連領域における最新の動向やテーマについての受験者の専門的な知識・理解がどの程度か、また、そのテーマ・動向についての受験者の解釈や意見が論理的説得力と独創性をもって記述、展開されているかを問う。

II

人間福祉に関わる3つの設問（「当事者の声」、非営利組織、社会調査で使用される尺度）から1つ選び、それについて、受験者の専門的な知識・理解の程度、受験者の解釈に沿いながら論理的説得力と独創性をもって説明できているかどうかを問う。

解答（または解答例）

I

出題の意図に沿って、①受験者の専門的知識・理解の程度、②受験者の解釈の内容の正確さ、及び③自分の考えを論理的に、かつ④説得力をもって述べることができるか否かを基準にして採点する。

II

人間福祉の3つの専門領域から1つ選び、選択した問題について出題意図に沿って、①受験者の専門的知識・理解の程度、②受験者の解釈内容の正確さ、③論理性、及び④自分の考えを説得力をもって述べることができるか否かを基準にして採点する。